

隠岐郡西ノ島の外浜の地形美と海水浴場の危機

発表者：鳥取大学地域学部3年生 窪井大地さん、農学部3年生 肥田木陸生さん

【質問】両サイド海なんですね。運河の流れはあるのですか？あるとしたらどちら向き？

【回答】潮位変化にあわせて、両方向の流れがあります。どちら向きが強いかは、地元の漁師さんに聞いてみます。

【質問】砂の移動が地形に影響するのですね。どのくらいの時間がかかるのでしょうか？

【回答】西ノ島の外浜サイズだと数年～数10年でしょうか？今後詳しく調査します。

【質問】塩類風化とはどんな現象ですか？

【回答】海水の波しぶきが岩石表面に付着し、海水が岩にしみます。日射等により岩石表面から乾いていくとき、海水に含まれていた塩類が岩石内部で結晶化し、岩石表面を浮き上がらせ強度を低下させます。このプロセスを塩類風化といいます。

【質問】藻場が増えた方が魚が増え、環境としてはよいのでは？

【回答】西ノ島唯一の海水浴場として、藻が生えてしまうとよくありません。漁は沖合で営まれています。

【質問】地域住民に研究結果をどのようにフィードバックする予定ですか？

【回答】2020年に再調査に訪れ、外浜に関心がある方々と夜、情報交換をする予定です。2019年の調査でも同様の情報交換会を持ちました。自然のペースにあわせ、ゆっくりと住民の方々と一緒に、外浜の理解を深めていくより他に手はないと思います。

【質問】他府県の意見を鳥取の問題のためにどう生かしているか？又は生かせること、展望はあるのか？

【回答】地域の課題には、個性と普遍性が含まれています。普遍性の目は他地域にも活かれます。

【質問】調査地点はどのように決めたのですか？

【回答】隠岐ジオパークに行ったことがきっかけで、たまたまそこに美しい砂浜と磯浜があったから。